

第1号議案

令和2年度事業報告及び収支決算について

1 令和2年度事業報告について

第37事業年度 $\left(\begin{array}{l} \text{自 令和 2年 4月 1日} \\ \text{至 令和 3年 3月 31日} \end{array} \right)$

当財団は、県内企業の総合的支援機関として、新産業創出や経営革新への支援、産業技術の高度化や科学技術の振興、産学官の共同研究開発への支援などに取り組んでいる。

令和2年度は、既存の取組みに加え、新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、経営面で多大な影響を受けている県内中小企業を強力に支援するため、新型コロナウイルス関連に特化した経営相談窓口を設置し、事業者の実態に応じた支援を実施したほか、感染対策のため人の移動に制約が生じた中でも中小企業の販路開拓等の取組みを積極的に支援するため、オンラインを活用した商談会やマッチングイベント、セミナー等を開催した。

※各事業右記載の金額は、経常費用の額である。

公益目的事業

I 新産業の創出や地域産業の革新、地域企業の経営基盤強化のための相談・指導、情報提供、助成及び資金貸付等の事業

決算額

1. 新事業創出等支援事業(県補他)

60,212千円

県内企業の新事業の創出や経営革新などを積極的に推進するため、本県の中核的支援機関として各支援機関と連携を取りながら、研究開発から事業化、販路開拓に至るまでの総合的な支援を実施した。また、新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、経営面で多大な影響を受けている県内中小企業を強力に支援するため、新型コロナウイルス関連に特化した相談窓口を設置するとともに、国や県の支援策等について職員の架電によるプッシュ型の情報提供を行う等、事業者の実態に応じた支援を実施した。さらに、事業者が円滑に事業承継を行えるよう、国からの委託により事業承継ネットワーク参加機関と連携し、個者支援を実施した。

相談事業	専門家による窓口相談や巡回相談などにより、中小企業の経営力の向上（経営革新・農商工連携・地域資源活用・販路開拓・経営改善等）、創業・再チャレンジ、事業承継等の課題に対する指導助言を行うとともに、企業ニーズの把握や事業化シーズの発掘等に努めた。 また、「認定支援機関」として、ものづくり中小企業・小規模事業者が実施する試作品の開発や設備投資等の計画作りを支援するとともに、補助金申請のための確認書発行業務を行った。	1, 176件
専門家派遣事業	地域の支援機関の要請等に基づき専門家を派遣し、中小企業の高度・専門的な経営課題の解決を図る。	—
支援体制整備事業	地域の支援機関と連携を図るため、産業支援機関連絡会議を開催した。（令和2年7月20日）	1回
経営支援強化事業	香川県から委託を受け「新型コロナウイルス関連経営相談窓口」を設置し、中小企業診断士等の専門家が県内事業者に向け、国・県・市町の施策の活用方法等に関する助言及び経営相談を行った。	1, 137件
	財団職員による「新型コロナウイルス関連企業支援チーム」を編成し、県内事業者に国や県の支援策等について、架電によるプッシュ型の情報提供を行った。	2, 635件
さぬき市中小企業等経営支援相談事業	さぬき市から同市内の商工業者などを対象とした経営革新等に関する相談業務を受託し、相談日に専門家を派遣した。	個別3回
事業承継ネットワーク運営事業（プッシュ型）	県内企業の事業承継への意識を喚起するため、平成29年度に構築した、商工会・商工会議所・金融機関等を構成機関とする事業承継ネットワークにおいて、事業承継診断の実施や事業承継計画策定支援を行った。さらに、香川県事業承継コーディネーター1名、事業承継ブロックコーディネーター3名を配置した「香川県事業承継支援窓口」において、事業承継診断により掘り起こされた支援ニーズに対して個者支援を実施した。また、商工会の経営指導員を対象にした事業承継支援担当者向け研修会を香川県商工会連合会への委託により開催した。	事業承継診断 3, 992件 計画策定支援 397件 事業承継支援窓口による個者支援 390件 専門家派遣 1件
事業承継ネットワーク運営事業（経営者保証解除）	「事業承継時の経営者保証解除に向けた総合的な対策」（中小企業庁）の策定を受け、事業承継ネットワーク事務局に「経営者保証コーディネーター」を配置し、後継者への経営者保証を理由に事業承継を躊躇している経営者を対象に経営者保証解除に向けた支援を行った。	支援申請件数 112件 うち、保証解除件数15件

2. 創業促進事業（国委）

89千円

平成25年度～平成27年度、起業・創業、第二創業を行う者に対して、経費の一部を補助する事業を行った。その補助事業者に対し、独立行政法人中小企業基盤整備機構から委託を受け、フォローアップを行った。

3. 新規創業・創業後支援事業（県補）

2, 161千円

(1) 創業支援塾事業

創業の促進を図るため、県内での創業を目指す者を対象に、創業に当たっての実務ポイントを一体的かつ体系的に学べることができ、かつ、具体的なビジネスプランを策定できるよう、実践的な創業支援塾を開講した。

○ かがわ創業塾

日時	受講者
令和2年8月28日～9月25日 (全5回) 13時～17時	29名（うち全課程修了者27名）

(2) 創業後個別フォロー・創業事例発表会開催事業

創業後間もない方を対象に、個別課題に対する相談窓口を設けるとともに、創業の成功事例の発表の機会や情報交換の機会を設けるなど、ネットワークづくりを促進し、廃業の抑止等につなげた。

① 創業後フォロー（専門家配置事業）

専門家：笠居 昭司、川上 実、筒井 恵

開催月	件数	時間	開催月	件数	時間
4月	—	—	10月	15	21
5月	—	—	11月	15	21
6月	15	21	12月	15	21
7月	15	21	1月	15	21
8月	13	21	2月	16	21
9月	14	21	3月	5	7

総数：138件、196時間

② 創業シンポジウム（創業事例発表会開催事業）

日時 令和3年3月1日 13時～16時30分

場所 香川産業頭脳化センタービル2階 一般研修室

○ 特別講演

『短期間での成長を目指すインバウンド観光スタートアップ ～WAmazingの挑戦～』

講師：WAmazing株式会社 代表取締役／CEO 加藤 史子 氏

○ 事例発表

・『空き家から見えてくる地域の未来 ～要らない空き家と社会貢献、地域連携による安全安心な街づくりへの挑戦～』

発表者：NPO法人香川県空家空地管理センター 代表理事 宮谷 実 氏

・『挑戦 ～創業とクラウドファンディングと新しい時代～』

発表者：株式会社カワニシカバンプロダクト 代表取締役 川西 功志 氏

○ パネルディスカッション

① WAmazing株式会社 代表取締役／CEO 加藤 史子 氏

② NPO法人香川県空家空地管理センター 代表理事 宮谷 実 氏

③ 株式会社カワニシカバンプロダクト 代表取締役 川西 功志 氏

④ 中小企業診断士 梅澤 秀樹 氏

4. 起業等スタートアップ支援事業（県補）

24,001千円

県内の社会的事業における効果的な起業を促進し、地域の諸課題の解決を通じた地域活力の向上を図ることを目的に、県内で創業する者に対して、その創業等に要する経費の一部を補助した。また、地域経済の活性化を図ることを目的に、県内での情報通信分野における創業、第二創業又は新分野進出をする者に対して、その創業等に要する経費の一部を補助した。

類型	対象事業	補助金上限額	申請／採択件数
地域課題 解決型	地域活性化関連、子育て支援、健康関連、買物弱者支援、まちづくりの推進などの社会的事業分野で、地域に蓄積された強みなどの地域資源を生かして地域の課題の解決に資する事業	200万円 (補助率 1/2 以内)	25件／10件
情報通信 産業型	次の情報通信関連の事業 ①情報サービス業、インターネット付随サービス業、映像・音声・文字情報制作業（新聞業及び出版業を除く）、デザイン業 ②ICT、IoT などの情報通信技術を活用し、新たな付加価値を伴う製品またはサービスを創出する事業	200万円 (補助率 2/3 以内)	8件／3件

5. 中小企業・小規模事業者ワンストップ総合支援事業（よろず支援拠点）（国委）

70,553千円

中小企業・小規模事業者への支援体制を強化するため、「香川県よろず支援拠点」に、チーフコーディネーター1名とサブチーフコーディネーター1名、コーディネーター15名を配置し、他の支援機関とも連携しつつ、総合的・先進的経営アドバイス、個別事案に最適な支援チームの編成などによる中小企業支援事業を国から委託を受け実施した。

また、中小企業の経営者等を対象に、セミナーを開催した。

○ 相談対応件数 令和2年度 5,644件（令和元年度 2,985件）

○ よろずセミナー実施回数 令和2年度 28回（令和元年度 35回）

6. 農業の6次産業化等促進事業（県委）

1,152千円

県から委託を受け、6次産業化にむけた取り組みを支援するため、「かがわ6次産業化推進センター相談窓口」を設置した。農林漁業者等へのサポート活動として、6次産業化プランナーの派遣やセミナー等を開催し、すでに実践する農林漁業者のフォローアップや志向する農林漁業者等に対して個別指導や助言を実施した。

(1) かがわ6次産業化推進センター相談窓口を設置、専任プランナーを委嘱

専任プランナー 4名を委嘱

(2) 経営改善計画支援対象者数 6事業者

(3) 6次産業化事業相談 相談件数 34件

(4) かがわ6次産業化異業種交流会の開催

・令和3年1月15日(金) ホテルパールガーデン(高松市)

参加者57名

ファシリテーター	かがわ6次産業化プランナー 豊田浩伸		
パネリスト	さんわ農夢(株)	(株)azemichi	飯田農園
	HARASHIMO BASE	コープ香川	(株)平井料理システム
	ガイナファーム(株)	三豊市商工会	三豊市農林水産課

7. 知的財産活性化事業(県補)

9,369千円

県内企業等の知的財産の創造・保護を促進するため、「香川県知的所有権センター」を設置・運営し、配置した知的財産権の活用を図る特許流通コーディネーターが、知的財産に関する情報収集・提供を行うとともに、知的財産の活用を促進するため、県内企業等への相談や訪問相談を行った。

相談件数等

項目	内 容	実 績
来訪者相談件数	特許流通に関する相談件数	111件
訪問企業数	特許流通のために訪問した企業数	126社

8. 知的財産活用促進事業(県補)

6,272千円

県内企業等の知的財産の活用による競争力強化を促進するため、「香川県知的所有権センター」が、知的財産を活用した経営や新たな事業展開に取り組む県内企業等の経営者等を対象に、日本弁理士会と連携して、「かがわ知財経営塾」をワークショップ形式で5回開催したほか、「知的財産セミナー」を4回開催した。また、大企業等が保有する開放特許の活用を通じて、県内企業の新商品開発や新たな事業展開を促進するため、知財マッチングセミナーをワークショップ形式で1回開催したほか、「知財マッチング in かがわ2020」を開催し、大企業等と県内企業との知財マッチングの機会を提供した。

(1) かがわ知財経営塾

	開催日	開催場所	テーマ	講 師	受講者数
第1回	令和2年 10月7日	ネクスト 香川3F 大会議室	ケーススタディ 「特許の活用編」	ディスプロ(株) 桑原 良弘 氏	14名
第2回	令和2年 10月15日		ケーススタディ 「トラブル対応編」	松島国際特許事務所 松島 理 氏	16名
第3回	令和2年 10月22日	香川産業 頭脳化セ ンタービ ル2F一 般研修室	ケーススタディ 「営業・提携編」	松島国際特許事務所 松島 理 氏	15名
第4回	令和2年 10月29日		ケーススタディ 「製造・販売・事業 運営編」	松島国際特許事務所 松島 理 氏	14名
第5回	令和2年 11月4日		ケーススタディ 「戦略的活用編」	ディスプロ(株) 桑原 良弘 氏	20名

(2) 知的財産セミナー

	開催日	開催場所	テーマ	講師	受講者数
第1回	令和2年 11月26日	香川産業 頭脳化セ ンタービ ル2F 一 般研修室	海外ビジネス人材 育成講座 「海外ビジネスと 知財対策」	独立行政法人工業 所有権情報・研修館 久永 道夫 氏	19名
第2回	令和2年 12月3日		意匠法改正の概要 と意匠権の活用事 例	レクシア特許法律 事務所 松井 宏 記 氏	14名
第3回	令和2年 12月10日		営業秘密管理 ～オープン・クロー ズ戦略とトラブル から学ぶ営業秘密 管理～	独立行政法人工業 所有権情報・研修館 古田 恵夫 氏	9名
第4回	令和2年 12月17日		ホントは怖い著作 権 ～ネット時代の落 とし穴～	(株)ループホール 城田 晴栄 氏	20名

(3) 知財マッチング

①知財マッチングセミナー

開催日	開催場所	テーマ	講師	受講者数
令和2年 11月12日	ネクスト香川 3F大会議室	開放特許をヒントに した新製品の開発	ディスプロ (株) 桑原 良弘 氏	11名

②知財マッチング in かがわ2020

知財マッチング in かがわ2020 Web面談	日 時：令和2年11月18日～12月25日 場 所：香川産業頭脳化センタービル2F 一般研修室、1F 専門研修室 開催方法：個別面談及びWeb面談 面談企業・件数：大企業等12社、県内企業14社 37件
--------------------------------	--

9. 中小企業等外国出願支援事業（国補）

5,259千円

中小企業等における戦略的な外国への特許出願等を促進するため、県内中小企業等を対象に、令和2年5月～10月の間に3回募集し、5社、8件（特許4件、商標4件）に対して、外国への特許出願等に要する費用の一部を助成した。

10. 中小企業知的財産支援事業（国補）

9,842千円

北四国地域（香川県、愛媛県）において、中小企業等が社外の技術を活用し、スピード感をもって、製品・技術開発や事業展開を進める「オープンイノベーション創出」を図るため、金融機関を対象に開催する知的財産勉強会を通じて、金融機関と連携し、同地域内の中小企業等から開放特許・技術・アイデア等のシーズ及び製品・技術開発等のニーズを収集し、企業間の知財ビジネスマッチングを開催した。

(1) 金融機関向け知的財産勉強会

	開催日	開催場所	テーマ	講 師	受講者数
第1回	令和2年 9月7日	香川産業 頭脳化セ ンタービ ル2F 一 般研修室	知的財産の基礎 知識	一級知的財産管理技 能士 黒田 茂 氏	7名
第2回	令和2年 9月17日		知的財産の活用		9名
第3回	令和2年 9月28日		オープンイノベ ーション創出		7名

(2) 知財ビジネスマッチング

知財ビジネス マッチング (香川会場)	日 時：令和3年2月10日 場 所：香川産業頭脳化センタービル2F 一般研修室、1F 専門研修室等 開催方法：個別面談及び Web 面談 面談企業・件数：県内企業21社 愛媛県内企業4社 31件
---------------------------	--

11. 知的財産活用セミナー事業（国請負）

1, 336千円

中小・中堅企業等の知的財産の積極的な活用を促進し、知的財産を活用した経営力の向上を図るため、知的財産活用セミナーをオンラインにより、計6回開催した。

テーマ	開催日	講 師	受講者数
海外展開における知的財産 問題 ～中国・ASEANを中心に～	令和2年12月21日	BLJ法律事務所 遠藤 誠 氏	9名
	令和3年1月26日		16名
地域ブランド発掘・認知度向 上	令和2年12月24日	株ブランド総合研究所 田中 章雄 氏	8名
	令和3年2月2日		17名
「デザイン経営」を知る	令和3年1月15日	香川大学創造工学部 教授 大場 晴夫 氏	18名
	令和3年2月24日		19名

12. ブランド構築支援事業（国請負）

1, 459千円

地域ブランドの創出及び商標等の知的財産の活用を図るため、四国経済産業局が選定・提示した「まんのうひまわりオイル」について、ブランド化を目指す団体に対し、知的財産研修会を開催するほか、ブランド力の向上や差別化戦略、模倣対策、地域商材の事業展開などに長けた専門家を派遣し、商標等を活かした地域ブランド構築に向けた活動を支援した。

(1) 知的財産研修会

開催日	開催場所	テーマ	講 師	受講者数
令和2年 11月10日	まんのう町商 工会会議室	知的財産の活用	一級知的財産管理技能士 黒田 茂 氏	7名

(2) 専門家支援

	開催日	開催場所	支援内容
第1回	令和2年11月27日	まんのう町商工会 会議室	地域商材の現状と課題の整理
第2回	令和2年12月11日		地域ブランド構築に向けた取組みの整理
第3回	令和3年1月8日		ロードマップ作成に向けた整理
第4回	令和3年2月4日		ロードマップ作成・活用方法

13. プロフェッショナル人材戦略拠点事業（県委）

34,062千円

県から委託を受け、プロフェッショナル人材（新たな商品、サービスの開発等、企業の成長戦略を具現化していく人材）の地方還流を促すために設置した「プロフェッショナル人材戦略拠点」において、戦略マネージャー1名と複数のサブマネージャー及びアシスタントを配置し、地域の金融機関等と連携しつつ、地域の中堅中小企業におけるプロフェッショナル人材のニーズを把握し、企業の成長戦略を支援した。また、兼業・副業等の多様な人材の活用促進、東京・大阪での県内企業の魅力等を発信するセミナー開催等を行った。

○プロフェッショナル人材成約件数 97件（うち兼業・副業人材の成約6件）

（令和元年度成約件数 78件）

14. 経済研究情報事業（県補他）

11,278千円

インターネットや情報誌等を活用した産業情報の提供を行ったほか、企業の情報化を支援するための情報化相談事業、人材育成のための若手社員フォローアップ研修を実施した。

また、独創的なビジネスプランで新規創業しようとする企業や独自のビジネスモデルを構築した企業を表彰した。

(1) 経済研究情報提供事業

財団ホームページ、メールマガジン及び情報誌等による産業情報の提供を行った。また、新型コロナウイルス感染症の感染拡大が生じた状況下においても、財団が中小企業者等に対して行う研修、会議及び講演会等を円滑に実施するため、これらの研修等をオンラインで行うために必要な機器やネットワーク環境を整備し、「オンライン研修等システム」を構築するとともに、その利活用を進めた。

情報提供媒体等	回数等
財団ホームページやメールマガジンによる情報発信	随時
情報誌「かがわ産業情報21」の発行	4回 (4月、7月、10月、1月)
ビジネス香川（かがわのエンジン・BKラジオ）による財団支援内容の紹介	かがわのエンジン：4回 BKラジオ：20秒CM/年120回

(2) かがわ型新ビジネスモデル奨励事業

創造的な技術や商品、サービスなどを新規に開発し、新たな顧客や付加価値を創造しようとする、独創的なビジネスプランを募集・表彰した。

【かがわビジネスモデル・チャレンジコンペ2020】

- ・応募総数26件
- ・特典：最大200万円の助成金、インキュベート工房の無料提供、特別低利融資等

	ビジネスプラン	事業者
最優秀賞	技+技=無限	TASUKI-Int.
優 秀 賞	巨大なコミュニケーションツール「デカらくがき本」を活用した新規事業	未伽
優 秀 賞	AR グラスを活用したシステムによる『個と個を繋ぐ新しいビジネス形態』	Panda 株式会社

(3) 情報化基盤整備促進事業

県内中小企業の情報化に向けた取組みを支援するため、情報化に関する相談事業を実施した。

内 容	回 数 等
情報化相談事業	48件

(4) 講習会開催事業

香川の産業高度化を支援するための人材育成事業として、若手社員フォローアップ研修を実施した。

講 習 会 名	開 催 日	参加人数
新入社員研修	新型コロナウイルス感染症の影響により開催中止	—
若手社員フォローアップ研修	令和3年2月19日	14名

15. 中小企業後継者育成事業

2,028千円

中小企業の経営者や後継者の育成を目的に、中小企業大学校が実施する各種研修や香川大学大学院地域マネジメント研究科に派遣する際に必要な経費の一部を助成した。

区 分	件数等	金 額
中小企業大学校派遣研修事業	14名	1,305千円
香川大学大学院地域マネジメント研究科派遣研修事業	1名	268千円

16. 設備資金貸付債権管理事業

110千円

過年度貸付の回収業務等を行った。

17. 国助成設備貸与債権管理事業

19,042千円

過年度貸与（割賦販売及びリース）の回収業務等を行った。

Ⅱ 産業技術の高度化及び科学技術の振興のための支援事業

1. 高度技術開発振興事業

8, 498千円

(1) 研修会等開催支援事業

県内産業の技術の高度化を図るため、学術研究支援や人材・能力育成支援を実施する予定であったが、新型コロナウイルス感染症拡大に伴う影響により、学会助成の申請があった1件は辞退となり、科学体験フェスティバルも実行委員会の判断により中止となった。

区 分	開催回数	参加者数
学術研究会の開催支援	0回	0名
第28回かがわけん科学体験フェスティバル (主催：かがわけん科学体験フェスティバル実行委員会等)	中止	0名

(2) 商品化技術テーマ調査事業

大学・高専・公設試等が保有する技術資源を活用して新たな商品開発を行おうとする県内企業等に対し、商品化・事業化の可能性についての調査研究に要する経費を助成した。

なお、令和元年度に採択した4事業者のうち、ケイ・タス株式会社は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響に伴い、採択事業の継続実施ができなくなったため経費の助成を辞退した。

令和2年度採択分【新規4件、助成額4, 000千円】

事業者	テーマ	学術研究機関
香川シムス株式会社	足首のサポート機能を有するソックスを着用する事による捻挫予防と運動効果の検証	産業技術総合研究所 四国センター 四国学院大学 社会学部
ワールドビジネスセンター株式会社	スマート農業の促進を目的とした農産物育成環境における土壌等水分検出用IoT機器の研究開発	香川県農業試験場
株式会社エスシーエー	企業独自のノウハウを搭載可能な、現場設置型「AIナビゲータ」の開発	香川県産業技術センター
はなはな＊みかん	『視覚学習みるみるメソッド®』における香川大学教育学部による監修と治験を踏まえた新たな治験用教材『みるみるカードえほん』の共同開発	香川大学 教育学部

(令和元年度採択分3件、2, 441千円)

(3) 芦原研究支援事業

本県出身の故芦原義重氏（関西電力㈱名誉会長、香川県名誉県民）からの寄附金による基金を活用して創設した芦原科学賞により、県内産業の技術の高度化及び産業振興に寄与するため、自然科学系分野において優秀な研究成果をあげた研究グループや個人の顕彰（大賞、功労賞）並びに優秀な成果をあげることが期待できる研究グループや個人の顕彰（奨励賞）を行った。

区 分		内 容 等
第 2 8 回 芦 原 科 学 賞	大賞 (賞状・楯・賞 金 2 0 0 万円)	受賞者：三菱電機(株)受配電システム製作所 西川 哲司 氏、津上 友成 氏 三菱電機エンジニアリング(株) 橋本 大也 氏、中井 遼司 氏 テーマ：停電不要かつ専門技術者派遣不要な受配電設備 の劣化診断システムの開発
	功労賞 (賞状・楯・賞 金 1 0 0 万円)	受賞者：大倉工業(株) 木村 浩司 氏、福永 秀樹 氏、阪内 邦夫 氏、 串田 豊和 氏、菟谷 新吾 氏、西尾 祥 氏 テーマ：ストレッチフード包装用フィルムの開発
	奨励賞 (賞状・楯・賞 金 5 0 万円)	受賞者：メロディ・インターナショナル(株) 尾形 優子 氏、河野 弘就 氏、國方 隆良 氏、 杉村 拓也 氏 テーマ：妊産婦の遠隔診療を可能にする「分娩監視装置 i CTG」と「周産期遠隔医療プラットフォーム Melody i」の開発

(4) 地域技術事業化推進事業

① 香川大学大学院地域マネジメント研究科との連携

香川大学大学院地域マネジメント研究科（MBA）と連携して、地域を担う若手人材を育成することを目的に、企業経営等の第一線で活躍している講師による授業科目「地域の中小企業と経済活性化」を地域マネジメント研究科における提供講座として開設した。

名 称	内 容 等
提供講座 「地域の中小企業 と経済活性化」	○開催日時 令和 2 年 1 0 月 6 日～令和 3 年 2 月 1 6 日 1 8 時 2 0 分～1 9 時 5 0 分（毎週火曜日、全 1 5 回） ○開催場所 香川大学又信記念館、総合教育棟講義室 ○開催内容 提供講座の開設（中小企業経営者等による 1 5 講座） ○参加者数 学生、一般聴講者等合わせ延べ 3 8 9 名が参加

2. 債務保証債権管理事業等

1 千円

(1) 債務保証

研究開発型企業が新技術・新製品の開発や事業化を行う際に必要な資金の円滑な借入れを支援するため、無担保の債務保証を行う事業であり、平成 2 8 年度までの債務保証事業において代位弁済を執行した案件で、求償権を有する案件 2 件の継続管理を行った。

3. 科学技術振興事業（国補）

86,627千円

（1）戦略的基盤技術高度化支援事業

我が国製造業の国際競争力の強化と新たな事業の創出を目指し、中小企業のものづくり基盤技術（バイオ、情報処理、精密加工、機械制御等12分野）の高度化に貢献できる研究開発について事業化に向けた取組みを支援する「戦略的基盤技術高度化支援事業（サポイン事業）」を推進した。

財団は事業管理機関として平成30年度採択事業1件、新規採択事業2件について、経済産業省から補助金を受けて進捗管理等を行った。

○平成30年度採択事業（研究開発3年目の事業）

テーマ	期間	研究機関	補助金額
高耐疲労高強度全天候型絶縁ロープの製造・点検技術の開発	平成30年8月～ 令和3年3月	高木綱業(株) 香川県産業技術 センター	21.3百万円 (令和2年度分)

○令和2年度採択事業（研究開発1年目の事業）

テーマ	期間	研究機関	補助金額
ヒト皮膚マイクロバイオームのバランス維持による悪玉菌の活性抑制型皮膚用剤の高精度生産技術の開発	令和2年8月～ 令和5年3月	(株)伏見製薬所 九州大学 香川大学	34.7百万円 (令和2年度分)
次世代半導体プロセスに対応可能な超臨界技術を用いたウエハ乾燥技術の開発	令和2年8月～ 令和4年3月	(株)レクザム (国研)産業技術 総合研究所	29.7百万円 (令和2年度分)

4. 地域共同研究開発事業（県補他）

72,290千円

地域企業と連携して、開発可能性調査研究型プロジェクト、受託研究、技術指導実験、県内産業育成支援のための調査研究、RIST保有研究設備・機器の一般開放を実施し、事業化・商品化支援を行うとともに、企業訪問による技術指導、技術講演会の開催、研究施設一般公開等を実施した。

また、食品産業への支援として「かがわ機能性食品等開発研究会」及び「かがわ冷凍食品研究フォーラム」と合同のシンポジウムの開催や新機能性表示食品開発相談センターによる機能性表示食品制度に関する相談・指導を実施した。

(1) 研究開発事業

① 企業支援研究事業

食の安全・安心、環境保全、C N F、電池電極など社会的課題・ニーズを踏まえたテーマを中心に、共同開発研究、開発可能性調査研究、受託研究、技術指導実験を推進した。

区分	令和2年度実施件数
開 発 可 能 性 調 査 研 究 (F S 研究)	1 件 (県内1企業)
受 託 研 究	2 件 (県内2企業)
技 術 指 導 実 験	8 件

② 調査研究事業

県内産業育成支援のため、R I S Tかがわ保有技術を活用した調査研究を実施した。

事業名	内容・結果
超臨界流体技術 応用研究	超臨界流体を応用した疎水化セルロースナノファイバー(CNF)開発及び事業化研究において、炭酸ガス超臨界処理によるCNF疎水化反応実験等を行った。撥水性が付与でき、疎水化CNFが得られたので、今後、フィルム化をめざして樹脂との混練や薄膜化を検討していく。
マイクロ波技術 応用研究	財団で保有しているマイクロ波(MW)処理技術の特許を応用し、地元産冷凍サヨリの氷点以下でのマイクロ波処理による小骨の脆弱化実験を行った。圧縮試験の結果、若干柔らかくなった。

③ 産業財産権

令和2年度では1件が特許登録となり、実施予定のない2件の特許放棄を行い、登録特許は6件となった。

これまでの特許出願等の状況は次のとおりである。

①出願件数	②特許登録数	③権利放棄数	登録特許保有数(②-③)
103件(0)	38件(1)	32件(2)	6件

※ () 内は令和2年度の件数

(2) 機能性食品開発支援事業

① かがわ機能性食品等開発研究会による支援

かがわ機能性食品等開発研究会の事業として、「かがわ冷凍食品研究フォーラム」と合同でシンポジウムを開催し、機能性食品等に係る県内企業の研究開発や商品開発の取組みを支援した。

区分	内容等
かがわ冷凍食品研究フォーラム・かがわ機能性食品等開発研究会第8回合同シンポジウム	○日時 令和2年10月22日(木) 13:30～16:00 ○場所 サンメッセ香川 中会議室 ○講演 ①「バリアシュリンクフィルムを用いたガスパック包装による食品の消費期限延長と食品ロス削減並びに食品包装用ラミネートフィルムの動向」 大倉工業株式会社 合成樹脂事業部商品化グループ 商品開発課長 阪内 邦夫 氏、ラミネート技術課長 筒井 淳浩 氏 ②「HACCP を活かす考え方とやるべきこと」 公益社団法人 香川県食品衛生協会 専務理事(兼)事務局長 松本 幸三 氏 ③「食品衛生法改正について－HACCP の制度化、営業許可制度の見直し、営業届出制度の創設等－」 香川県健康福祉部生活衛生課食品衛生グループ 主任 池田 光広 氏 ○参加者 56名

② 機能性表示食品届出支援

平成27年6月に設置した新機能性表示食品開発相談センターでは、消費者庁への機能性表示食品届出について、届出書類作成等支援業務を2社2件受託し、2件とも届出に至るとともに、機能性表示食品開発・届出に関する相談業務(令和2年度相談件数:96件)を行った。

また、令和元年度に届出支援した機能性表示食品については、令和2年度に新たに2商品(2企業)が発売開始となった。これにより、相談センターが支援した県内企業の機能性表示食品は12商品となった。

(3) 冷凍食品産業支援事業

かがわ冷凍食品研究フォーラムの事業として、「かがわ機能性食品等開発研究会」と合同でシンポジウムを開催し、県内の冷凍食品を製造する企業等の研究開発や商品開発の取組みを支援した。

区分(再掲)	内容等(再掲)
かがわ冷凍食品研究フォーラム・かがわ機能性食品等開発研究会第8回合同シンポジウム	○日時 令和2年10月22日(木) 13:30～16:00 ○場所 サンメッセ香川 中会議室 ○講演 ①「バリアシュリンクフィルムを用いたガスパック包装による食品の消費期限延長と食品ロス削減並びに食品包装用ラミネートフィルムの動向」 大倉工業株式会社 合成樹脂事業部商品化グループ 商品開発課長 阪内 邦夫 氏、ラミネート技術課長 筒井 淳浩 氏 ②「HACCP を活かす考え方とやるべきこと」 公益社団法人 香川県食品衛生協会 専務理事(兼)事務局長 松本 幸三 氏

	③「食品衛生法改正について－HACCP の制度化、営業許可制度の見直し、営業届出制度の創設等－」 香川県健康福祉部生活衛生課食品衛生グループ 主任 池田 光広 氏 ○参加者 56名
--	--

(4) 商品化・事業化促進事業

研究開発・技術開発終了後、実用化の段階にある企業に対して、研究者による技術移転とともに、食品加工の専門家によるサポートを実施した。

(5) 研究設備・機器の一般開放

高温高压流体技術やマイクロ波技術に関する装置、物性測定装置及び分析装置などの研究機器を企業等に開放した。(令和2年度利用件数：101件)

(6) 一般公開、研究発表会の開催

RISTかがわの活動等について県民の方々に知ってもらうため、小学生親子を対象に(一社)香川県発明協会と共同開催で「科学と発明」おもしろ体験学習を実施した。

また、RISTかがわの保有技術の普及を図るため、県内企業等を対象に研究発表会を開催した。

区分	内容等
「科学と発明」おもしろ体験学習	○開催日時 令和2年8月2日(日) 10:00～15:30 ○開催場所 RIST かがわ ○内容 小学生親子を対象に、下記の体験講座を実施した。 1 かがく実験教室 RIST かがわ研究施設の実験機器を使い、2班に分かれ交互に、電子レンジによるガラス細工等の体験及び電子顕微鏡等で微細な世界の観察体験をした。 講師：朝日信吉主席研究員、中西勉主席研究員、補助員 2 発明工作教室(ドライアイス実験教室) 発明専門家を講師に、ドライアイスはどのようなものかを実験をとおして学び、工作ではフィルムケースでプチロケットを作り、ドライアイスで発射実験をした。 講師：ELF 丸亀 副理事長 丹下 善弘 先生 ○参加者数：親子23組
令和2年度研究発表会 (地域共同研究部研究員2名の研究発表)	○日時：令和3年3月30日(火) 13時30分～14時20分 ○場所：(公財)かがわ産業支援財団 RIST かがわ 1階会議室 ○参加者：20人 ○演題1 「超臨界技術によるプラスチック材料への機能性付与に関する研究(Ⅱ)－親油性セルロース素材の開発－」 (発表者 地域共同研究部 主席研究員 中西 勉) ○演題2 「オリーブ圧搾滓に含まれるポリフェノールの分析－マイクロ波照射によるオリーブ圧搾滓保存前処理の検討－」 (発表者 地域共同研究部 主席研究員 朝日 信吉)

5. 先端技術成果実用化支援事業（県補）

954千円

産学官連携で取り組んできた糖質バイオの研究・開発の成果を、引き続き県内企業に普及させるため、県の補助を受け、企業や研究者との情報交換等を行ったほか、産学官の関係者が連携による広域的な人的ネットワークを形成するため、かがわ糖質バイオフォーラムを運営した。また、希少糖関連事業の円滑な推進を図るために総合的な調整等を行う「香川県希少糖戦略会議」の「生産・健康・医療部会」の運営に関与し調整を図った。

区 分	内 容
かがわ糖質バイオフォーラムの運営	シンポジウム及び研究会を開催し、研究開発の進捗状況を発表するほか、産学官の研究者の積極的な意見交換を行うことで、企業と大学研究者などとの人的ネットワークの形成・拡大を図った。
「生産・健康・医療部会」の調整	希少糖のPR、希少糖関連商品の販売、希少糖の生産、香川大学での研究拠点化について情報交換、調整等を行うことにより、希少糖関連プロジェクトの推進を図った。

○かがわ糖質バイオフォーラム第13回シンポジウムの開催

- ① 開催日時：令和3年1月29日 13時～16時40分
- ② 開催場所：かがわ国際会議場
- ③ 参加者数：87名
- ④ 開催内容：
 - 第1部講演
 - 「糖代謝と脂質代謝の接点」
香川大学医学部内分泌代謝・先端医療・臨床検査医学講座
教授 村尾 孝児 氏
 - 「天然由来成分の免疫機能性解析」
産業技術総合研究所四国センター 健康医工学研究部門
細胞機能解析研究グループ 主任研究員 安部 博子 氏

第2部講演

- 「香川県産オリーブからの清酒醸造用酵母の探索」
香川県産業技術センター発酵食品研究所 主席研究員 大西 茂彦 氏
- 「オリーブ葉を活用した新しい煮干（オリーブイリコ）の開発」
香川県産業技術センター食品研究所 主席研究員 松原 保仁 氏

第3部総合ディスカッション

- 座長 かがわ糖質バイオフォーラム顧問 香川大学名誉教授 早川 茂
- 第一部、第二部講演者

○希少糖戦略会議 生産・健康・医療部会

<部会での協議事項>

- ①「かがわ希少糖ホワイトバレー」プロジェクト
- ②大学等での研究状況、海外での研究状況
- ③レアーシュガースウィート（RSS）の国内市場状況及びアルロースの国内外展開
- ④アルロースの特定保健用食品認可に向けての状況と機能性表示食品制度
- ⑤希少糖（アルロース、RSS等）の広報状況、普及等

<令和2年度開催実績> ※いずれも非公開。

- ・第22回 令和2年 7月15日（リモート形式）
- ・第23回 令和2年11月11日
- ・第24回 令和3年 3月17日

6. 健康関連製品開発事業（県補）

3, 730千円

県内15の産学官機関が策定し、国の地域イノベーション戦略支援地域の選定を受けた「かがわ健康関連製品開発地域構想」を推進し、健康関連産業の創出を図るため、県補助金を活用して、医療機器や福祉機器等の製品開発・事業化の促進に努めた。

（１）地域企業の健康関連製品開発分野への新規参入等支援

① 大型展示会への出展支援

今後の成長が見込まれる医療・福祉分野への新規参入等を支援する取組みとして、医療・福祉分野の総合展示会である「HOSPEX Japan 2020」に香川県ブースを出展した。

区 分	内 容 等
HOSPEX Japan 2020 出展 (日本医療福祉設備学会併設展示会)	会 期：令和2年11月11日～13日 開催場所：東京ビッグサイト 主 催：(一社)日本医療福祉設備協会、(一社)日本能率協会 出展企業・団体数：183 来場登録者数：6,373名 香川県ブース出展企業：7社 ■ブース来場者数等 ブース来場者数：698名、名刺交換数322枚、商談件数：103件、試作依頼件数：1件、継続協議件数：32件

② 薬事マネジメント相談会の開催

薬機法や医療機器の開発などに幅広い知識と豊富な経験を有する、NPO医工連携推進機構 客員研究員 吉川典子氏に薬事マネジメント相談員を委嘱し、薬事マネジメント相談会を開催した。

区 分	内 容 等
第1回	開催日時：令和2年10月2日 13時～16時 開催場所：FROM香川1階スタッフルーム 相 談 員：薬事マネジメント相談員 吉川典子氏 開催内容：円滑な医療機器開発、製造等のための薬事マネジメントに関する無料個別相談会 参加者数：県内中小企業等3者
第2回	開催日時：令和3年2月26日 13時～17時 開催場所：FROM香川1階スタッフルーム 相 談 員：薬事マネジメント相談員 吉川典子氏 開催内容：円滑な医療機器開発、製造等のための薬事マネジメントに関する無料個別相談会 参加者数：県内中小企業等3者

（２）フォーラム活動への参画

かがわ健康関連製品開発フォーラム及び微細構造デバイス研究開発フォーラムの運営に参画し、セミナー等を実施することにより地域企業に対して各種情報提供を行うとともに、人的なネットワークの構築、産学官の連携による新事業、新産業の創出に努めた。

① かがわ健康関連製品開発フォーラム

設 立：平成24年7月1日、平成25年9月1日「ICTビジネス部会」を設置

会 長：香川大学客員教授 山本 知生 氏

会員数：法人会員94、個人会員42、賛助会員10 計146

(うち ICT ビジネス部会会員35)

② 微細構造デバイス研究開発フォーラム

設 立：平成17年4月1日

会 長：香川大学名誉教授 大平 文和 氏

会員数：法人会員19、個人会員12、賛助会員4 計35

区 分	内容等
微細構造デバイス研究開発フォーラム令和2年度セミナー	開催日時：令和2年12月11日 13時30分～17時00分 開催場所：一般会場：香川産業頭脳化センタービル2階一般研修室 W e b 会場：Zoom ウェビナー 開催内容： 講演①「光MEMSにおける最新応用と集積化技術」 東北大学大学院工学研究科 教授 羽根 一博 氏 講演②「光学式ガス検知技術の進化を目指すマイクロマシン技術の応用」 株式会社四国総合研究所 電子アグリ技術部レーザグループ 副主席研究員 朝日 一平 氏 講演③「微細構造が生み出す新しい光材料と光デバイス」 徳島大学大学院社会産業理工学研究部理工学域 教授 原口 雅宣 氏 参加者数：62名（一般会場30名、W e b 会場32名）

Ⅲ 下請中小企業の振興のための事業

1. 下請企業振興対策事業（県補）

19,954千円

取引情報収集提供事業	下請取引のあっせん 受発注取引を希望する登録企業の取引あっせんを行った。	291件
	取引情報の収集提供 専門調査員等が登録企業を訪問し、受発注情報や企業情報等の収集・提供を行った。	408件
	共同受注推進会議の開催 新型コロナウイルス感染症感染拡大のため、未開催。	—
	広域商談会の開催 ① 四国4県合同で広域商談会を開催した。 ・「四国モノづくり合同商談会2020 in KOCHI（合同広域商談会）」 日 時：令和2年11月5日 11時～17時 場 所：セリーズ体育館（高知市） 参加者：発注企業 47社 受注企業134社（香川県49社、徳島県19社、愛媛県30社、高知県36社） ② 近畿・四国合同で広域商談会を非対面方式（電話・Eメールによる）で開催した。 ・「モノづくり受発注広域商談会」 日 時：令和2年10月1日～11月15日 幹事県：大阪府 参加者：県内受注企業11社 ・「近畿・四国合同広域商談会」 日 時：令和3年1月18日～2月26日 幹事県：京都府 参加者：県内受注企業 9社	3回

	個別商談会の開催 ① 株式会社ツガワ（神奈川県横浜市） 日 時：令和2年6月3日、4日 参加者：県内受注企業6社 ② 株式会社レクザム（高松市） 日 時：令和2年9月8日 参加者：県内受注企業3社 ③ 株式会社レクザム（高松市） 日 時：令和2年10月21日 参加者：県内受注企業2社 有力な展示商談会への共同出展支援 「第25回機械要素技術展」（幕張メッセ）に出展し、かがわ次世代ものづくり研究会会員である県内企業9社による香川県ブースを出展する予定であったが、開催地の千葉県が新型コロナウイルス感染症緊急事態宣言対象区域となっていることを考慮し、出展を取りやめた。 ＜当初の出展計画＞ 開催期間：令和3年2月3日～5日 出展企業：県内のものづくり企業9社 四国企業販路開拓マッチングプロジェクト 「第23回関西機械要素技術展」（インテックス大阪）に、県内のものづくり系企業を対象に香川県ブースを出展し、四国企業販路開拓マッチングプロジェクトとしてPRを行った。 令和2年10月7日～9日 出展企業8社 水素関連見本市出展支援 「第7回関西二次電池展（BATTERY OSAKA2020）」（インテックス大阪）に出展し、県内のエネルギー関連分野企業を対象に香川県ブースとして集団展示を行った。 令和2年9月9日～11日 出展企業3社	3回 — 1回 1回
下請かけこみ寺事業	（公財）全国中小企業振興機関協会の実施する「下請かけこみ寺事業」の地域拠点として、下請取引に関する様々な相談に対応した。（弁護士無料相談含む）	50件

IV 創業支援、ベンチャー企業育成、産業の高度化、産学官共同研究の推進等のための施設の管理・運営事業

1. 頭脳化センター施設提供事業（県補他）

138,711千円

香川産業頭脳化センタービルの貸室は、創業しようとする者や創業間もない者が入居できる「インキュベートルーム」及び地域産業の高度化に寄与すると認められる企業等が入居できる「リサーチルーム」からなり、その入居については「香川産業頭脳化センタービル入居者選考委員会」において審議するなど、適切な運営に努めた。

名 称	貸 室 数	入 居 状 況
インキュベータールーム	37室	9室
リサーチルーム		28室

※入居者によって「インキュベータールーム」、「リサーチルーム」の区分が変わる。

2. IT関連インキュベーター施設管理運営事業（県補）

5,673千円

ITを活用し新事業に取り組む起業家（ネットベンチャー）等を支援するため、高速通信回線が整備された部屋を低料金で利用できるインキュベーター施設「ITスクエア」を香川県の補助を受けて運営した。

名 称	貸 室 数	入 居 状 況
ITスクエア	11室	7室

3. 県有施設管理運営事業（県委）

84,483千円

地域企業の技術の高度化や新分野進出を支援するためのインキュベーター工房や電波暗室を設けた県有施設の「香川県新規産業創出支援センター（ネクスト香川）」及び先端技術産業分野の研究開発を産学官で行うための拠点施設「香川県科学技術研究センター（FROM香川）」について、県から指定管理者の指定を受け、平成28年度から5年間、管理運営を行った。

令和2年度に、ネクスト香川に新たに情報通信型工房4室を設置し、情報処理関連企業の支援を強化した。

ネクスト香川

（1）入居条件等及び入居状況

①入居条件等

区分	インキュベーター工房（一般型）	インキュベーター工房（情報通信型）
入居条件	創業又は新事業の開拓を目的として新技術等の研究開発を行う者又は情報処理関連事業の研究開発を行う者であって、次の各号のいずれかに該当するもの ①新たに事業を営もうとするもの ②新たに事業を営んだ日以後5年を経過していない者 ③事業の多角化、事業の転換等により新たな事業の分野へ進出しようとする者 ④県内で新たに情報処理関連事業を開始するための事務所等を設置しようとする者 ⑤産業振興に資するものとして知事が認める者	次のいずれかに該当する者 ①新たに情報処理関連事業（※）を営もうとする者 ②情報処理関連事業を営む者であって、創業後5年を経過していない者 ③事業の多角化等により新たな情報処理関連事業分野へ進出しようとする者 ④県内で新たに情報処理関連事業を開始するための事務所等を設置しようとする者 ⑤情報処理関連事業を営む者であって、本県産業の振興に資するものとして知事が適当と認める者 （※）情報処理サービス業、ソフトウェア業、映像・音声・文字情報制作業、デザイン業及びインターネット附随サービス業

規模	大 (120～140 m ² クラス) 4室 小 (65 m ² クラス) 6室	大 (30 m ² クラス) 2室 小 (15 m ² クラス) 2室
入居状況	大 3室 小 4室	小 1室
利用料金	入居から5年まで 月額1,560円／m ² 入居から5年経過後 月額1,870円／m ²	月額1,560円／m ²
入居期間	3年間（最長5年まで延長が可能） ただし知事が別に定める事業の分野に属する場合等は、最長13年まで延長可能。 （知事が別に定める事業分野：地域資源や伝統技術を活用した特長のある食品・バイオ関連分野、健康関連分野、先端技術や基盤技術を活用したものづくり分野、エネルギー・環境関連分野）	3年間（最長5年まで延長が可能）

②入居状況

一般型（10室中7室入居）

部屋番号	入居企業名	事業概要	入居年月日
101	(株)かもめや	無人輸送システム、機器の研究開発	平成29年7月1日
201	(株)未来機械	窓清掃ロボット及びメカトロニクス製品の研究開発、製造・販売	平成20年10月1日
202	空室		
203	空室		
204	(株)総合開発	土壌・水質浄化技術の研究開発	平成29年7月1日
205	(株)Soillook	ドローンと赤外線カメラを使ったインフラ点検機器等の開発	令和2年1月1日
301	自然免疫制御技術研究組合	動物実験による健康食品産業の支援	平成29年2月1日
302	空室		
303	メロディ・インターナショナル(株)	K-MIXと連携する胎児心拍計、遠隔医療システム、健康生活アプリの開発	平成27年9月1日
304			

情報通信型（４室中１室入居）

部屋 番号	入居企業名	事業概要	入居年月日
２０Ａ	空 室		
２０Ｂ	空 室		
２０Ｃ	空 室		
２０Ｄ	エムケイディ 合同会社	スマートデバイスやコンピュータ及びネット ワークを利用したシステム・アプリケーショ ンの研究開発	令和２年 １１月１ 日

（２）EMC総合試験施設管理運営

EMC総合試験施設使用状況 稼働率 ９４．５％

区 分	利用企業数	利用時間（実日数）	
		大型電波暗室	小型電波暗室
県内企業	１０社	３１１時間（４２日）	８５９時間（１１５日）
県外企業	２１社	１，０６２時間（１８１日）	５９９時間（７９日）
合 計	３１社	１，３７３時間（２２３日）	１，４５８時間（１９４日）

（３）かがわEMC技術研究会事業

区 分	内 容 等
EMC研究会	総会のみを書面にて開催
EMC講演会	○開催日時 令和２年１１月２７日 １３時２０分～１７時 ○会 場 香川産業頭脳化センタービル２階一般研修室（主会場） １階専門研修室（サテライト会場） ○テーマ等 ・講演「電気回路と電波の発生」 岡山大学名誉教授 古賀隆治 氏（かがわEMC技術研究会会長） ・講演「電磁シールド性能と放熱性を両立する放熱孔の設計」 岡山県工業技術センター研究企画部 若槻友里 氏 ・講演「GHz帯電界標準とアンテナ校正法の最新動向」 国立研究開発法人産業技術総合研究所 飴谷充隆 氏 ○参加者数（会員他） ３８名

FROM香川

(1) 入居条件等及び入居状況

①入居条件等

区 分	メカトロ研究室、バイオ研究室、一般研究室、産学官連携推進室
入居条件	①産学官共同研究を行うグループで、産学官を2以上含み、うち1以上が県内で主たる研究開発を行うもの ②産学官共同研究のうち、基礎研究の成果を実用化に結びつけるための研究開発を行う企業 ③産学官連携推進事業を行う法人
規 模	メカトロ研究室 1 室 バイオ研究室 1 室 一般研究室 1 5 室 産学官連携推進室 1 室
入居状況	メカトロ研究室： 1 グループ バイオ研究室： 1 グループ 一般研究室 1 5 室： 1 0 グループ 産学官連携推進室： 1 グループ
利用料金	産学官共同研究グループ 無料 実用化研究企業 月額 2, 6 1 0 円/㎡ (月額 1, 5 6 0 円/㎡に減額される場合あり) 産学官連携推進事業を行う法人 無料
入居期間	3 年間 (最長 5 年まで延長が可能) ただし一定の要件に該当する場合は最長 1 0 年まで延長可能。

②入居状況 (1 8 室中 1 8 室入居)

研究室名	研究グループ名 (研究代表/使用責任者)	研究テーマ	入居研究機関	入居 年月日
メカトロ 研究室	マイクロ加工研究 グループ (香川大学 高尾英 邦/寺尾京平)	異分野融合型 産業にむけた マイクロ・ナノ デバイスの研 究	香川大学創造工学部、 医学部、農学部 京都大学 静岡大学 岡山県立大学 香川高等専門学校 徳島大学 大阪府立大学 アオイ電子(株) (株)レクザム 四国総合研究所 ユニチャーム(株) プロテノバ(株) (有)ファイトロニクス 高松帝酸(株) 産業技術総合研究所	平成 3 0 年 1 0 月 1 日

バイオ研究室	アルツハイマー病予防 LPS 開発グループ (自然免疫制御技術研究組合 杉源一郎 / 稲川裕之)	アルツハイマー病等の予防・治療に向けた LPS 創薬の基盤構築と高 LPS 農産物栽培技術の開発	自然免疫制御技術研究組合、香川大学農学部、長野県立大学、九州大学大学院、北海道科学大学、鹿児島大学 (特活)環瀬戸内自然免疫ネットワーク 自然免疫応用技研(株) 東洋ライス(株) 小豆島食材開発会議	平成30年 8月1日
一般研究室 (1 a)	酵素反応阻害剤研究グループ (香川大学 中北慎一 / 木下崇司)	糖鎖加工酵素の反応阻害剤の研究開発	香川大学総合生命科学研究センター 九州大学 徳島大学 (株)伏見製薬所	平成30年 9月1日
一般研究室 (1 b)				
一般研究室 (1 c)	IoT 機器開発共同研究グループ(株)未来機械 三宅徹 / 浦治男)	非接触三次元測定センサを核とした生産設備の IoT 化システム等の研究開発	香川大学創造工学部(株)未来機械	平成27年 7月1日
一般研究室 (2 a)	オリーブ生産への AI 導入共同研究グループ (一社)美味しさの科学研究所 山野善正 / 同上)	センシング及び AI による高品質な香川県産オリーブの生産管理システムの開発	(一社)おいしさの科学研究所 香川大学農学部 (株)日進機械 瀬戸内オリーブ(株)	平成31年 4月1日
一般研究室 (2 b)				
一般研究室 (2 c)	脳梗塞予防ネットワークシステム企画開発グループ (香川大学 原量宏 / 同上)	心房細動 (A F) スクリーニングシステムの研究開発	香川大学瀬戸内圏研究センター 香川大学医学部 香川大学医学部附属病院 NPO 法人 e-HCIK メロディ・インターナショナル(株)	令和元年 9月1日
一般研究室 (3 a)	複合糖質研究開発グループ (香川大学 中北慎一 / (株)伏見製薬所 木下崇司)	複合糖質の研究開発	香川大学総合生命科学研究センター (株)伏見製薬所	平成30年 3月1日
一般研究室 (3 b)				
一般研究室 (3 c)				
一般研究室 (4 a)	先進シミュレータ共同研究グループ (三咲デザイン合同会社 田島淳 / 香川大学 創造工学部 鈴木桂輔)	教育・研究用途の先進シミュレータの研究開発	三咲デザイン合同会社 香川大学創造工学部	平成30年 4月1日

一般研究室 (4b)	自律型検査・メンテ ロボット共同研究 グループ	2次元最適施肥 量算出を目指 したリアルタ イム自動検査 ロボットの研 究開発	香川大学創造工学部 香川大学医学部 (株)未来機械	平成31年 4月1日
一般研究室 (4c)	(株)未来機械 三宅 徹/同上)			
一般研究室 (5a)	海洋細菌多糖と植 物乳酸菌の機能開 発共同研究グルー プ (香川大学 岡崎勝 一郎/ (株)ハマダフ ードシステム 蓮井 昌彦)	海洋細菌多糖 と植物乳酸菌 の機能開発	香川大学農学部 (株)ハマダフードシス テム (株)ピカソ美化学研究所 富士産業(株)	平成28年 4月1日
一般研究室 (5b)	腸内フローラ研究 グループ (オーブ(株) 鈴木 啓太/ 香川大学 桑原知巳)	腸内細菌叢の 網羅的解析及 び生体影響及 びアスリートの 腸内細菌叢の 特徴と機能の 解明に関する 研究	香川大学医学部 オーブ(株)	平成29年 4月1日
一般研究室 (5c)	バキュロ発現系生 産限界技術共同研 究グループ (株)バキュロテクノ ロジーズ馬嶋景/同 左)	バキュロウィ ルス発現系の 生産限界技術 開発	(株)バキュロテクノロ ジーズ 山 口 大 学 農 学 部 (有)生産資源研究所 日本大学医学部	平成28年 4月1日
産学官連 携推進室	(公財)かがわ産業 支援財団(財団大津 佳裕/財団今雪良 智)	かがわ健康関 連製品開発地 域構想関係及 び糖質バイオ プロジェクト の推進	—	平成24年 4月1日

(2) FROM香川共同機器室及びバイオ関連共同実験室

① 利用状況

共同機器室： 37件

バイオ関連共同実験室：35件

② 機器利用講習会の開催

新型コロナウイルス感染症拡大のため中止

V 新かがわ中小企業応援基金等を活用した新産業の創出、地域産業の革新等のための支援事業

新かがわ中小企業応援ファンド等事業

110,910千円

(独)中小企業基盤整備機構、香川県、金融機関及び当財団が資金を拠出した総額118.5億円の「新かがわ中小企業応援ファンド」などを活用して、中小企業者等に助成を行うことなどにより、先端技術産業や地場産業の新たな取組みなどを支援した。また、コロナ禍においても、県内中小企業の販路開拓を積極的に支援するため、オンラインを活用した食品商談会やセミナー等を開催した。

1. 助成事業の状況

(1) 令和2年度助成事業の募集期間

令和元年11月27日～令和2年1月24日

(2) 事業件数

継 続 【11件 6,739千円】

新規採択 【53件 56,053千円】

区 分	継続	令和2年度新規	
		申請件数	採択件数
① 新分野等チャレンジ支援事業	6 (うち廃止1件)	23	14 (うち廃止1件)
② 競争力強化研究開発支援事業	2	18	10
③ 地場産業・地域資源活用支援事業	2	—	—
④ 県外見本市出展支援事業	—	10	10 (うち廃止2件)
⑤ 海外見本市出展支援事業	—	8	5 (うち廃止1件)
⑥ ものづくり生産性向上・スキルアップ支援事業	—	4	4
⑦創業ベンチャー支援事業 (かがわビジネスモデル・チャレンジコンペ枠1件含む)	1	3	2
⑧ 農商工連携支援事業	—	3	3
⑨ 地域資源ブランド化・販路拡大支援事業	—	18	5
合計	11	87	53

(3) 助成事業の詳細

① 新分野等チャレンジ支援事業

県内中小企業者が取り組む新分野進出のための商品・技術開発や、市場性を見極めるための試作品作成、付加価値の高い新製品開発のための実証実験などに対して支援を行った。

ア 継続 【6件 (うち廃止1件)、助成額 3,749千円】

テーマ	事業者
耐熱シリコングローブに関するディッピング用原手の開発	ウインセス(株)
環境対応包材の開発	(株)北四国グラビア印刷

小豆島そうめん・讃岐うどんの新規商材の介護食・ベビーフードへの新規販路開拓事業	(株)吉太郎
健康的で安全性の高い豆乳ジェラートの開発	(有)久保食品
日本初！オリーブキクラゲの試作開発	(株)TK エステート 【廃止】
表面改質と凹凸形状による剥離ポリフィルムの開発	マルワ製袋(株)

イ 新規採択 【14件（うち廃止1件）、助成額 5,502千円】

テーマ	事業者
新ブランドを目指し、「さぬきサフラン」を活用したサフランシロップの製造	(株)GRプラント
県産豆の粉体加工による新商品開発	(有)筒井製菓
ポータブル脱臭機の試作品作製と実証試験	(株)長峰製作所
おからの出ない豆粉豆腐（大豆加工食品：仮称ソイサラダ）の開発	仁尾興産(株)
高度な発酵技術を利用した新規和三盆糖の開発	ばいこう堂(株)
香川の特産物・県産品を使用した燻製しょうゆの開発	(有)宮地醤油醸造場
独自のデザイン・機能等を有する木質製品の開発	(株)モクラス
廃棄処分された屋根瓦の再利用（ガーデニング材）技術の確立	(株)請川窯業
一般廃棄物由来の固形燃料原料を活用した製鉄用「フォーミング抑制材」の開発	(株)エコマスター
エディブルフラワーの栄養価及び心身に与える効果に着目した加工食品の開発	カトーレック(株) 【廃止】
新規油性 LPS 原料を配合した油剤系化粧品“バーム”の開発	自然免疫応用技研(株)
道路工事用三槽式タンクの開発	ハイブリッド(株)
分娩監視装置 iCTG の小型化とデザイン変更によるユーザビリティの向上	メロディ・インターナショナル(株)
オリーブ樹木スモークウッドの専用スモーカーの開発と販路開拓	(株)山一商店

② 競争力強化研究開発支援事業

独創的な研究開発や、特許権等を活用した付加価値の高い新製品・新技術の開発等に対して支援を行った。

ア 継続 【2件、助成額 700千円】

テーマ	事業者
麺の品質向上に伴う競争力強化	(株)久保田麺業
住環境における現場型漏水検知・診断システムの開発	(株)日進機械

イ 新規採択 【10件、助成額 30,830千円】

テーマ	事業者
知的財産（折畳み自転車の特許）を活用した炭素繊維強化プラスチック（CFRP）製高性能電動アシスト付き折畳み自転車の研究・開発	(有)アイヴエモーション
牛解体における自動背割り装置の開発	インターマシン(株)
漏洩ガスの多成分同時検査が可能な重量 300 g の超小型 1 ライン赤外分光装置	(株)Soillook
ベルトコンベアモニタリングシステム（IoT）市場投入前の、顧客現地での実機試験品の製作・据付、実証研究	(株)三和テスコ
イヌ・ネコ用テラーメイドガンワクチンの開発	(有)四国動物医療センター
ディープラーニングによる屋外空間移動物体の位置取得精度を飛躍的に向上させる技術	(有)電マーク
メタノール燃料電池を搭載した、移動型非常用電源システムを確立するための実証実験	バリオスター(株)
左右非対称な糖鎖構造を持つ抗体の開発	(株)伏見製薬所
マイクロニードル製剤の量産化	(株)メドレックス
視覚障がい者用環境認知デバイス“RtF グラス”開発事業	(株)Raise the Flag.

③ 地場産業・地域資源活用支援事業

地場産品または県が指定した地域資源を活用した新製品の開発や販路開拓等に対して支援を行った。

継続 【2件、助成額 1,422千円】

テーマ	事業者
東かがわの縫製技術を活用した自社ブランドの生産能力向上及び販路開拓	アーバン工芸(株)
高品質化粧品の開発	金両(株)

④ 県外見本市出展支援事業

県内中小企業者等に対して、国内で開催される見本市への出展の支援を行った。

新規採択 【10件（うち変更6件、廃止2件）、助成額 1,147千円】

テーマ	事業者
第9回全国やきものフェア in みやぎ → やきものワールド《変更》	(株)川口屋漆器店
危機管理産業展（RISCON TOKYO）2020	(株)空撮技研 【廃止】
第一回 名古屋 計測・検査・センサ展	(株)コヤマ・システム
【関西】外食ビジネスウィーク 2020 → 【関西】外食ビジネスウィーク 2021《変更》	(合)さぬき農園ぐらし
防犯防災総合展 2020	四国プランニング(株)
【日本の食品】輸出 EXP02020 → 【日本の食品】輸出 EXP02021《変更》	宝食品(株)
地方銀行フードセレクション 2020 → データベース商談会《変更》	(有)パイプライン

リフォーム産業フェア 2020 → リフォーム産業フェア 2021 in 東京《変更》	(株)マルトク
外食ビジネスウィーク 2020 第2回フードデリバリー・テイクアウト展	(株)マルモ印刷 【廃止】
バリアフリー2020 → バリアフリー2021《変更》	(株)Raise the Flag.

⑤ 海外見本市出展支援事業

県内中小企業者等に対して、海外で開催される見本市への出展の支援を行った。

新規採択 **【5件（うち変更4件、廃止1件）、助成額 800千円】**

テーマ	事業者
中国廈門国際佛事用品（春季）展示会（5月 中国・廈門市） → 中国廈門国際佛事用品（春季）展示会 2021《変更》	(株)岩佐佛喜堂
SIAL CHINA 2020（9月 中国・上海） → SIAL CHINA 2021（5月）《変更》	鎌田醤油(株)
MAN/WOMAN（6月 フランス・パリ）	(有)川北縫製 【廃止】
New York Mutual Trading Inc. 27 th Food and Restaurant EXPO（9月 米国・ニューヨーク） → New York Mutual Trading Inc. 27 th Food and Restaurant EXPO2021《変更》	(株)タケサン
Viet beauty 2020（7月 ベトナム・ホーチミン） → hktdc.com Sourcing（香港貿易発展局 BtoB オンライン展示会）《変更》	(株)マリーヌ

⑥ ものづくり生産性向上・スキルアップ支援事業

中小企業者等が製造現場におけるコスト削減等を目的に行う、専門コンサルタントを活用した製造現場の改善事業や、企業が実施する人材育成研修事業に対して支援を行った。

新規採択 **【4件、助成額 4,503千円】**

テーマ	事業者
科学的手法を駆使しつつ、発想を転換し、時代の激変に変化に対応していく為の生産性向上プログラム	一光電機(株)
存亡の機に瀕した国内で唯一引田に残った「むしろ麴」製法を継承する醤油蔵「かめびし」存続のための業務プロセス全体（商品・製造・販売・事務等）の抜本的な改革	(株)かめびし
社内カウンセリング体制の構築による生産性向上	(株)F U J I D A N
全員参加のVM活動で生産性向上とリードタイム短縮を達成し、顧客満足向上と企業体質の強化を図る	マルワ製袋(株)

⑦ 創業ベンチャー支援事業

新規創業者や創業間もない企業が行う、新規性、独創性のある事業等に対して支援を行った。

ア 継続 **【1件、助成額 868千円】**

テーマ	事業者
地域ブランドプロデュースし地場産業にイノベーションを興す「伊吹島プロジェクト」	加地 正人

イ 新規採択 【2件、助成額 3, 599千円】

テーマ	事業者
“隠れ不登校”生徒サポート事業 香川発「もう一つの我が家」構築	AKARIサポート
保多織の新展開－保多織の新しい可能性を探る－	ツムギ

⑧ 農商工連携支援事業

中小企業者が農林漁業者と連携し、互いの経営資源や先端技術等を活用して行う新商品・新サービスの開発等に対して支援を行った。

新規採択 【3件、助成額 691千円】

テーマ	事業者
規格外農林水産物等を活用した新たな冷凍食品等の開発と販路開拓	共栄冷凍水産(株)
県産花きの新たな流通・販売方法の実証	(株)高松花市場
いちご、柑橘など小豆島産農産物を有効活用した常温流通商品の開発と販路開拓	(株)FURYU

⑨ 地域資源販路拡大支援事業

【地域資源ブランド化・販路拡大支援事業】

地域の資源を活用した商品の開発、デザイン開発等によるブランド力の強化、戦略的な情報発信等による販路拡大のための実効性のある取組みに対して支援を行った。

新規採択 【5件、助成額 8, 981千円】

テーマ	事業者
縫製技術を活用した新規レディースブランドの確立	(有)川北縫製
伊吹産いりこラーメン商品の開発	(株)久保田麺業
産業用手袋における市場開拓を目的とした産業用オリジナルブランド「BULLWORK（仮称）」の事業化	(株)ダイコープロダクト
「ダイシモチ」を活用した長期保存食の商品開発および販路開拓	宝食品(株)
地球環境にやさしいブランド商材の開発及び拡販	(株)フクシン

2. 産業支援機関事業（財団直営事業を含む。）の状況

① 高度産業人材育成事業

分野	実施講座数	受講者数（延べ）
IT技術研修	10	85名
次世代ものづくり技術研修	3	13名

② 地域企業国内販路開拓支援事業

事業名	実績	件数等
発注開拓支援事業	大手企業出身者（経営支援NPOクラブ会員）の人脈及び経験を活用し、発注案件や情報収集の発掘を行った。 ・発注案件の探索及び紹介件数 16件 ・窓口の紹介や商談機会の創出件数 35件 ・展示商談会の開催支援件数 3件	54件
かがわものづくり新技術展示商談会開催事業	県内の企業や研究機関等が有する優れたものづくり技術・製品等をPRするため、県外大手メーカーに対して一堂に展示し、商談会を通じて本県企業の新規取引先の開拓と受注機会の拡大を図る予定であったが、新型コロナウイルス感染症感染拡大のため、開催を中止した。	0回
食品商談会開催事業	【食品商談会】 テレビ会議システムを利用した、オンラインによる県内のセラー（食品事業者）と県外のバイヤーとの個別マッチング商談形式によるリモート商談会を開催した。 ・開催日時 令和2年11月13日、24日 ・開催場所 JRホテルクレメント高松 ・参加企業 34社 ・バイヤー 5社【百貨店、総合スーパー他】 ・商談件数 60件 (追加開催※) ・開催日時 令和3年3月24日、25日 ・開催場所 香川産業頭脳化センタービル ・参加企業 13社 ・バイヤー 2社【総合スーパー等】 ・商談件数 22件 ※ 出展中止となった「スーパーマーケット・トレードショー」の出展予定者を対象に、販路拡大のための商談機会を創出するため、首都圏バイヤーとのリモート食品商談会を開催した。	4回
食品見本市出展事業	【スーパーマーケット・トレードショー】 香川県食品産業の魅力を発信するとともに、県内食品関連企業の販路開拓を支援するため、国内最大級の食品関連見本市である「スーパーマーケット・トレードショー2021」に、香川県ブース(26小間)を出展する予定であったが、新型コロナウイルス感染症感染拡大のため、出展をとりやめた。 ・開催日時 令和3年2月17日～19日 ・開催場所 幕張メッセ全館	—

③ 地域企業海外販路開拓支援事業

事業名	内 容	件 数 等
国際取引支援事業	国際取引支援アドバイザーを配置し、相談会の開催等により、県内企業の国際取引相談に対応するとともに、課題・ニーズの把握を行った。	国際取引支援アドバイザー 2 名配置 個別相談 21 件 (インターネット回線を利用した個別相談 3 件含む)
「かがわ海外ビジネス支援総合サイト」の運営	財団 HP 内に開設している海外ビジネス専用サイトを活用し、各支援機関の海外ビジネス支援に関する情報を一元化して発信することにより、県内企業の海外展開の支援を行った。	主な内容 新着情報、財団事業、香川県上海ビジネス展開支援事業、海外ビジネス情報、中国 NAVI 他

④ 地域資源販路拡大支援事業

事業名	内 容
ビジネスマッチング創出支援事業	地域の認知度や地域活力向上を図るため、地域資源に特化した販路拡大支援事業を実施することで、香川県の顔となる地域資源が全国的に認知され、販路拡大につながるよう中小企業者等を支援した。 【個別商談会】 新型コロナウイルス感染症感染拡大のため、未実施。 【地域資源活用型食品見本市出展事業】 香川の産品をリードする地域の資源であるオリーブや希少糖に特化し、「スーパーマーケット・トレードショー2021」への出展支援（参加企業 2 社）を行う予定であったが、新型コロナウイルス感染症感染拡大のため、出展をとりやめとなった。 ・開催日時 令和 3 年 2 月 17 日～19 日 ・開催場所 幕張メッセ全館 【販路拡大トータルサポート事業】 ①「地域資源販路拡大商談会 2020in かがわ」 大都市圏等県外バイヤー及び県内バイヤーを招聘し、県内地場産業者等との商談会を開催した。 ・日時 令和 2 年 11 月 25 日、26 日 ・場所 株式会社 河内小学校（三豊市山本町） ・招聘バイヤー 15 社（首都圏等の小売店、セレクトショップ他） ・参加セラー 22 社 ・商談件数 297 件、成立 2 件 商談継続 64 件 ②フォローアップ事業 地域の資源を活用した商品の販路拡大を目指す 2 事業者に対して、専門家によるフォローアップを実施するとともに、展示会出展支援を行い、販路拡大をサポートした。 ・専門家 (株)グローバルフォルムコンクリート 代表取締役 健石 直材 氏 こだわり食品きしな屋 代表 岸菜 賢一 氏 ・出展展示会：「F A B E X 関西 2020」

地域資源コーディネート事業	コーディネーターを2名配置し、新かがわ中小企業応援ファンド等事業（地域資源ブランド化・販路拡大支援事業）等の幅広い利用促進、シーズの発掘等を行った。
ブラッシュアップ支援事業	成約につながる販路開拓手法の仕組みづくりのための販路開拓支援セミナーを開催した。 【販路開拓支援セミナー】 ・開催日時：令和2年10月5日 ・開催場所：香川産業頭脳化センタービル 2階一般研修室 ・開催内容：基調講演「選ばれる商品づくりと販路開拓セミナー ～地域の資源を活かしたヒット商品の作り方・バイヤーに選ばれる展示・販売方法～」 ・講師：(株)生産者直売のれん会 取締役 伊藤 拓哉 氏 地域資源を活用しているものづくり企業の販路拡大につなげることを目的にしたセミナーで、一般会場を設けつつオンラインツールを併用し開催した。 【国際取引支援セミナー】 ・開催日時：令和2年10月12日 ・開催場所：香川産業頭脳化センタービル 2階一般研修室（一般会場） ・オンラインツール：Zoom（ウェビナー） ・開催内容：基調講演「with コロナ時代のAI・IoT活用 ～技術革新と海外展開への準備～」 ・講師：(株)ハート・クオリア 代表取締役 座間 安紀夫 氏

⑤ 新規発掘・事業化コーディネート事業

専任コーディネーター等を配置し、積極的な中小企業回りを通じて、新たなシーズの発掘や事業化の支援、事業終了後のフォローアップ、成果検証等を行った。

⑥ 成果事例集の発刊

新かがわ中小企業応援ファンド等事業の支援制度の周知や事業者の販路拡大につなげることを目的に、支援制度を活用した数多くの事例の中から、優れた成果をあげた、または期待される事例をメニューごとに広く紹介した成果事例集を作成した。

収益事業

1. 産業会館事務室提供事業

2, 534千円

産業会館5階に所有するスペースを、公益社団法人香川県シルバー人材センター連合会、一般財団法人消防試験研究センター香川県支部及び香川県中小企業団体中央会に対し、賃貸した。

その他の事業（相互扶助等事業）

1. 異業種交流事業

1, 312千円

(1) かがわ産業振興クラブ運営事業

知事との意見交換会や、セミナーを開催するとともに、機関誌やメールマガジン等により産業情報の提供を行った。

事業内容	開催日	参加者数
知事との意見交換会	令和 2年11月19日	36名
セミナー（オンライン配信あり）	令和 3年 2月26日	89名 ※オンライン視聴を含む
県外企業等見学会	新型コロナウイルス感染症感染拡大のため開催中止	—

(2) 異業種交流等への支援

各種団体の事務局として当該団体の活動を支援した。

団体名	団体概要	活動内容
香川マルチメディア ビジネスフォーラム (会員数 27)	ITを活用した経営の向上や新たなビジネスの創出を図るとともに、会員企業の交流を促進し、本県産業の振興に寄与することを目的として設立された団体	○講演会 ○オンライン施設セミナー等
香川県デザイン協会 (会員数 78)	県内におけるデザイン振興の中核として、優れたデザインが生み出される環境づくりや、産業界等との連携による産業及び地域文化の発展を図るため、県内デザイナー等により設立された団体	○フリーマーケット ○四国デザインフェーション ○学生表彰 ○理事会 ○会報発行 等
さぬきプラザ 21 (会員数 17)	技術・市場関連の問題等に関する意見・情報の交換により、会員企業の技術及び経営力の向上を図るため、県内企業で構成された異業種交流の団体	○講演会 ○見学会 ○総会、交流会 ○会員間の情報交換 等
かがわプラザ 2004 (会員数 35)		
J S 研究会 (会員数 35)	県内中小企業の自立化推進や人材育成・経営基盤の強化等を研究するため、県内のものづくり系企業で組織された団体	○講演会 ○見学会 ○人材育成研修 ○総会、交流会 等
香川インテリジェント パーク交流推進協 議会 (会員数 37)	香川インテリジェントパーク(KIP)に立地する企業や団体等の理解、交流及び情報交換を推進し、相互の技術、経営及び学術、文化の向上を図るために設立された団体	○総会 ○会員間の情報交換 ○香川インテリジェントパークの一斉清掃 ○献血 等

2. 香川県発明協会事務運営事業

1, 035千円

一般社団法人香川県発明協会の事務運営業務を受託した。

法人会計

1. 一般管理運営事業

94,085千円

財団運営の全般的管理を行うとともに、理事会及び評議員会の開催、基金等運用収入の確保等により財団事業の円滑実施に努めた。

[評議員会の開催状況]

回次	開催年月日	開催場所等	主要議題
第40回評議員会	令和 2年 4月24日	持ち回り	1 「評議員の選任について」 2 「理事の選任について」
第41回評議員会	令和 2年 6月30日	高松国際ホテル	1 「定款の変更について」 2 「監事の選任について」 3 「評議員の選任について」

[理事会の開催状況]

回次	開催年月日	開催場所等	主要議題
第106回 理事会	令和 2年 6月 5日	香川県新規産業創出支援センター3階 大会議室	1 「令和元年度事業報告及び収支決算について」 2 「令和元年度資金運用実績について」 3 「令和2年度収支補正予算について」 4 「就業規程の一部改正について」 5 「評議員会の招集について」
第107回 理事会	令和 2年 9月30日	持ち回り	1 「令和2年度収支補正予算について」
第108回 理事会	令和 3年 3月 3日	香川産業頭脳化センタービル1階専門研修室	1 「令和2年度収支補正予算について」 2 「令和3年度資金運用計画について」 3 「令和3年度事業計画及び収支予算について」 4 「資金運用指針の一部改正について」 5 「組織規程の一部改正について」 6 「常勤理事の報酬について」